

グローバル株式トップフォーカス

設定日：2016年3月31日

償還日：2026年3月16日

決算日：原則、毎年3月15日

収益分配：決算日毎

基準価額：14,390円

純資産総額：1.17億円

※当レポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。
 ※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。
 ※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

運用実績

＜基準価額の推移＞



※分配金込み基準価額の推移は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。

※基準価額は、信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の値です。

＜基準価額の騰落率＞

1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
4.28%	3.76%	18.12%	6.50%	59.22%	43.90%

※基準価額の騰落率は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。

＜分配金実績（税引前）＞

17・3・15	18・3・15	19・3・15		
0円	0円	0円		

※分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。

＜資産構成比率＞

日興AMグローバル・エクイティ・ファンド クラスP	98.0%
マネー・アカウント・マザーファンド	0.1%

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

日興 A M グローバル・エクイティ・ファンド クラス P

※日興アセットマネジメント ヨーロッパ リミテッドより提供された情報です。
 ※以下は当外国投資信託における数値です。比率は当外国投資信託の純資産総額比です。
 ※「組入上位10銘柄」は、個別銘柄の取引を推奨するものでも、将来の組入れを保証するものでもありません。

<資産構成比>

株式	96.3%
現金その他	3.7%

<組入上位10カ国>

アメリカ	54.2%
イギリス	16.2%
日本	6.9%
中国	5.0%
香港	2.9%
オランダ	2.6%
フランス	2.3%
インド	2.2%
スウェーデン	2.1%
イタリア	1.9%

<組入上位10通貨>

アメリカドル	58.3%
イギリスポンド	15.8%
香港ドル	8.0%
日本円	6.9%
ユーロ	6.7%
インドルピー	2.2%
スウェーデンクローナ	2.1%
新台湾ドル	0.0%
カナダドル	0.0%

<組入上位10業種>

情報技術	19.7%
ヘルスケア	16.0%
金融	15.6%
資本財・サービス	11.5%
一般消費財・サービス	11.5%
生活必需品	9.8%
コミュニケーション・サービス	5.1%
素材	3.6%
不動産	2.2%
エネルギー	1.4%

<規模別構成比率>

時価総額	比率
超大型株 (500億米ドル以上)	43.8%
大型株 (100億米ドル以上500億米ドル未満)	32.2%
中型株 (20億米ドル以上100億米ドル未満)	20.3%
小型株 (20億米ドル未満)	0.0%

<組入上位10銘柄> (組入銘柄数: 40銘柄)

	銘柄	国名	業種	比率
1	マイクロソフト	アメリカ	情報技術	4.7%
2	プロGRESS・コープ	アメリカ	金融	4.0%
3	アマゾン・ドット・コム	アメリカ	一般消費財・サービス	4.0%
4	トランス・ユニオン	アメリカ	資本財・サービス	3.3%
5	ユニリーバ	イギリス	生活必需品	3.3%
6	LHCグループ	アメリカ	ヘルスケア	3.0%
7	アンセム	アメリカ	ヘルスケア	2.9%
8	AIAグループ	香港	金融	2.9%
9	アクセンチュア	アメリカ	情報技術	2.8%
10	任天堂	日本	コミュニケーション・サービス	2.7%

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

運用コメント

※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

◎市場環境

米国株式市場は、前月末と比べて上昇しました。前半は、中国政府高官の米中交渉に前向きな発言から米中通商協議の進展期待が高まったことや、米中間の貿易摩擦の激化に懸念を示し、景気拡大を持続させるため適切に行動すると米国連邦準備制度理事会（FRB）議長が発言したこと、市場予想を下回る内容の雇用統計の発表などを受けてFRBによる利下げ観測が強まったことなどから、株価は上昇しました。後半は、米国とイランの対立激化による中東の地政学リスクの高まりが株価の重しとなったものの、月末のG20大阪サミット期間中に米中首脳会談が行われるとの報道などから米中通商協議の進展期待が高まったことや、米国連邦公開市場委員会（FOMC）の声明文を受けて利下げ期待が高まったことなどを受けて、株価は上昇しました。

欧州株式市場は、前月末と比べて総じて上昇しました。前半は、欧州中央銀行（ECB）が政策金利の据置き期間を延長したことを受けて利下げ期待が後退したことが株価の重しとなったものの、中国政府高官の米中交渉に前向きな発言から米中通商協議の進展期待が高まったことや、米国連邦準備制度理事会（FRB）による利下げ観測が強まったことなどが支援材料となり、株価は総じて上昇しました。後半は、ドイツIfo企業景況感指数が悪化したことなどが株価の重しとなったものの、イタリアが欧州連合（EU）の制裁を回避するため予算案を改善するとの報道を受けて政治的不透明感が後退したことや、ECB総裁が追加緩和を示唆したこと、G20大阪サミット期間中に米中首脳会談が行われるとの報道などから米中通商協議の進展期待が高まったことなどから、株価は概して上昇しました。

6月の国内株式市場は、東証株価指数（TOPIX）が前月末比プラス2.57%、日経平均株価が同プラス3.28%と上昇しました。上旬は、米国連邦準備制度理事会（FRB）議長が利下げの可能性を示唆し、世界的な景気の減速懸念が後退したことなどから、国内株式市場は上昇しました。中旬から下旬にかけては、G20大阪サミットに合わせて米中首脳会談が開かれる見通しになり、貿易協議の進展が期待されたことなどが上昇要因となる一方、ホルムズ海峡付近でのタンカー攻撃をきっかけに、米国とイランの対立が激化し中東の地政学リスクが意識されたことなどが下落要因となり、国内株式市場は一進一退の動きとなりました。

東証33業種分類では、鉱業、非鉄金属、海運業など27業種が上昇する一方で、電気・ガス業、陸運業、水産・農林業などの6業種が下落しました。

◎運用概況

6月の世界株式は上昇して5月に下げた分を取り戻し、現在は2018年9月につけた高値を試す展開になっています。今回の上昇相場の原動力となっているのは、米中が全面的な貿易戦争に突入しないだろうという予測と、世界各国・地域の中央銀行は市場のデータが望ましくない内容になるとの兆しが少しでも浮上したら流動性を市場へ注入する構えがあるだろうという予測です。

一般消費財・サービスや素材、資本財・サービスセクターといった景気敏感セクターは堅調に推移しました。そして、当年につけた高値にはまだ届いていないものの市場を牽引し続けるIT（情報技術）セクターがこれを支えました。公益事業などのディフェンシブセクターは年初から好調に推移していましたが、不動産セクターとともに持続的な強気相場を下支えしました。

当ファンドでは、主に2つの銘柄が良好なパフォーマンスとなりました。一つ目は、スポーツウェアの販売を手掛ける中国有数の小売業銘柄で、同社は30%を超える収益の伸びとeコマースチャネルの著しい成長を背景に利益の上方修正を発表しました。また、フランスの情報技術銘柄の経営陣が、規模で勝る競合による現金での買収に同意したことも当ファンドに有利に作用しました。当ポートフォリオ内のその他の銘柄の動きは小幅なものでした。

◎今後の見通し

当ファンドは、革新的で差別化の図られた戦略により持続可能な競争力を発揮し、強力な経営陣があらゆるステークホルダーの利益のために経営する会社を引き続き選好しています。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額の変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

ファンドの特色

1. 世界の株式を投資対象として厳選投資を行ないます。

- ◆日本や新興国を含む世界の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主な投資対象とし、投資スタイル（グロースやバリュー）、国・セクターなどにとらわれることなく、相対的に魅力があると判断される 40～60程度の銘柄に厳選投資します。
- ◆外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないません。

2. 日興アセットマネジメント ヨーロッパ リミテッドが実質的な運用を担当します。

- ◆株式運用において実績を持つ日興アセットマネジメント ヨーロッパ リミテッドのグローバル株式運用チームが、当ファンドの主な投資対象である「日興AMグローバル・エクイティ・ファンド クラスP」の運用を行ないます。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

■お申込みメモ

商品分類	追加型投信／内外／株式
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	2026年3月16日まで(2016年3月31日設定)
決算日	毎年3月15日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
購入・換金申込不可日	販売会社の営業日であっても、下記のいずれかに該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ・英国証券取引所の休業日 ・ニューヨーク証券取引所の休業日 ・ロンドンの銀行休業日 ・ニューヨークの銀行休業日 ・ルクセンブルクの銀行休業日
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して8営業日目からお支払いします。
課税関係	原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。 ※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 ※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。 ※配当控除の適用はありません。 ※益金不算入制度は適用されません。

■手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

<申込時、換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料 購入時の基準価額に対し**3.24%*(税抜3%)以内**
 *消費税率が10%になった場合は、**3.3%**となります。
 ※購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
 ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。

換金手数料

信託財産留保額

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

運用管理費用 (信託報酬) 純資産総額に対し**年率1.2164%*(税抜1.13%)**程度が実質的な信託報酬となります。
 *消費税率が10%になった場合は、**1.238%**となります。

信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率1.1664%*(税抜1.08%)、投資対象とする投資信託証券の組入れに係る信託報酬率が年率0.05%程度となります。

*消費税率が10%になった場合は、**1.188%**となります。

受益者が実質的に負担する信託報酬率(年率)は、投資対象とする投資信託証券の組入比率や当該投資信託証券の変更などにより変動します。

その他の費用・手数料

目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して**年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額**が信託財産から支払われます。

組入る有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。

※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社
受託会社	三井住友信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 〔ホームページ〕 www.nikkoam.com/ 〔コールセンター〕 0120-25-1404 (午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

■お申込みに際しての留意事項

○リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様へ帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】

- ・株式の価格は、会社の成長性や収益性の企業情報および当該情報の変化に影響を受けて変動します。また、国内および海外の経済・政治情勢などの影響を受けて変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。
- ・新興国の株式は、先進国の株式に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。
- ・公社債は、金利変動により価格が変動するリスクがあります。一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。ただし、その価格変動幅は、残存期間やクーポンレートなどの発行条件などにより債券ごとに異なります。

【流動性リスク】

- ・市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。
- ・新興国の株式は、先進国の株式に比べて市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高まる場合があります。

【信用リスク】

- ・投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。デフォルト（債務不履行）や企業倒産の懸念から、発行体の株式などの価格は大きく下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
- ・公社債および短期金融資産の発行体にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、公社債および短期金融資産の価格が下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。また、実際にデフォルトが生じた場合、投資した資金が回収できないリスクが高い確率で発生します。

【為替変動リスク】

- ・外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
- ・一般に新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて為替変動が大きくなる場合があります。

【カントリー・リスク】

- ・投資対象国における非常事態など（金融危機、財政上の理由による国自体のデフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など）を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。
- ・一般に新興国は、情報の開示などが先進国に比べて充分でない、あるいは正確な情報の入手が遅延する場合があります。

※ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

○その他の留意事項

- ・当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- ・当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- ・投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- ・分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- ・投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は 日興アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第368号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○		○	
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○